

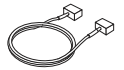
ダイヤモンド電機用ひだまりeyes工事説明書

- 1 パソコン複数台接続ケーブル(別売部品)を接続する
(隣の水色の枠参照)
2. 全てのパワーコンディショナの「**C** 複数台」スイッチを「有」にする。
3. 親機、子機、端末機にあわせて「**D** 終端」を設定する。
4. 親機、子機、端末機全ての「**B** 夜間給電」スイッチを「無」にする。 詳しくは2ページ目参照
5. 子機、端末機の夜間給電コネクタを外す。
6. パソコンIDを設定する。(P24参照)
7. 複数台接続確認をする(P25参照)

パソコン複数台接続ケーブル

3 m (DECB-CC30)

10 m (DECB-CC100)

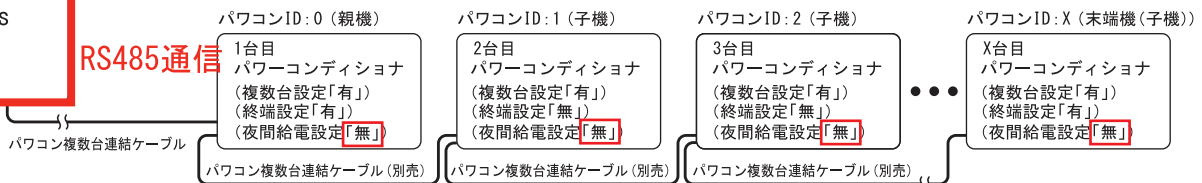


現場手配 必ずパソコンの台数分用意

● パワーコンディショナ複数台施工時の配線および設定例

ひだまり
eyes

RS485通信



ひだまりeyesとパソコン複数台接続ケーブルにて複数台通信 1 に接続する

〈例:2台接続の場合〉

別売部品のパソコン複数台接続ケーブルを、下図を参照しながら配線を行ってください。

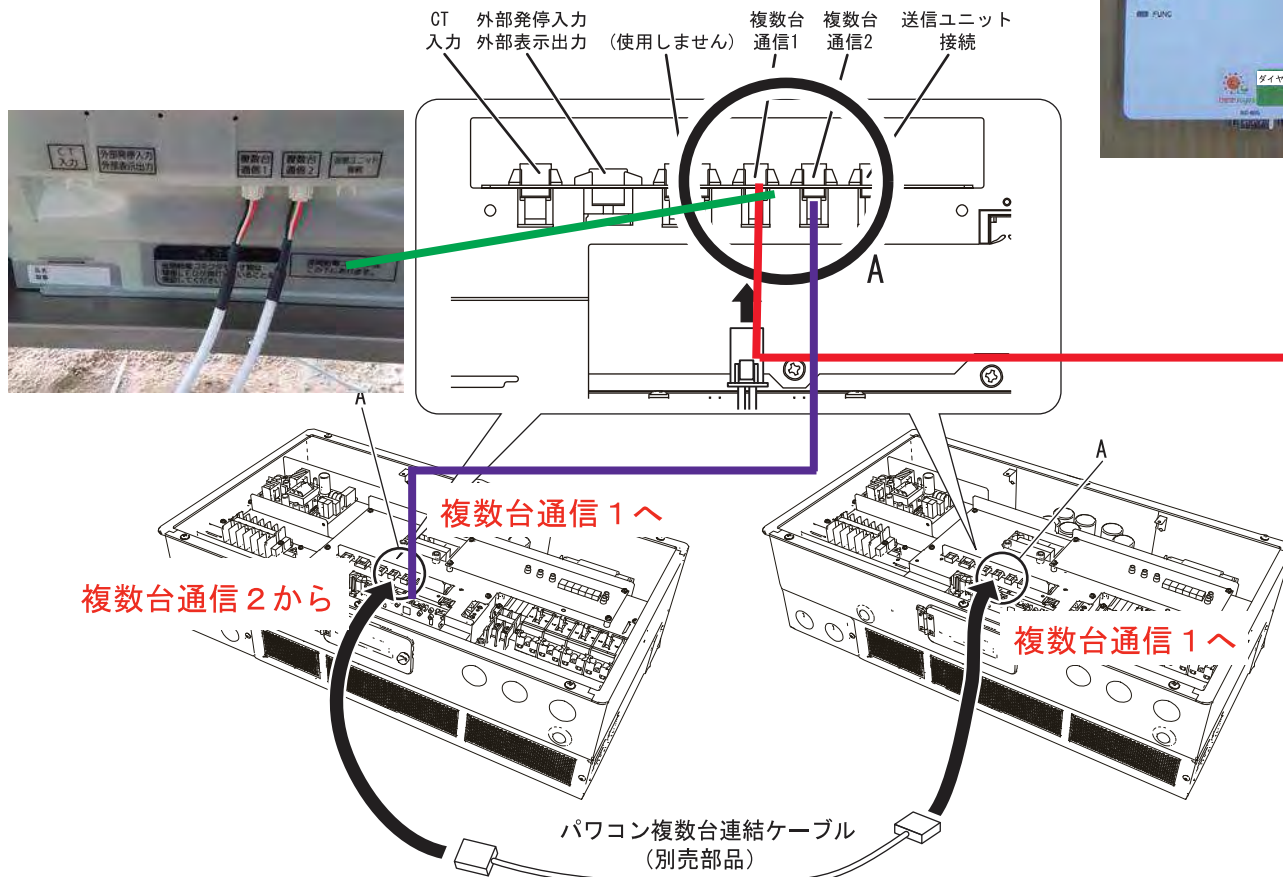
1. 1台目のパワーコンディショナの複数台通信 2 コネクタに
パソコン複数台接続ケーブルを差し込みます。

2. 2台目のパソコンの複数台通信 1 にパソコン複数台接続
ケーブルを差し込みます。

※3台目以降がある場合も以下同様です。



黒 +
白 -
赤 GND

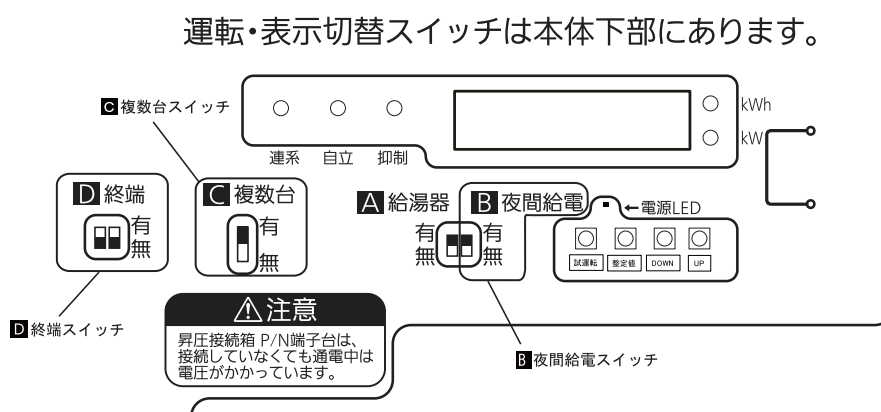


複数台通信

コネクタの1番ピンが+ (パソコンコネクタ側ケーブル色: 黄 / 複数台連結ケーブル側ケーブル色: 黒)
2番ピンが- (パソコンコネクタ側ケーブル色: 緑 / 複数台連結ケーブル側ケーブル色: 白)
3番ピンがGND (パソコンコネクタ側ケーブル色: 青 / 複数台連結ケーブル側: 赤) です。

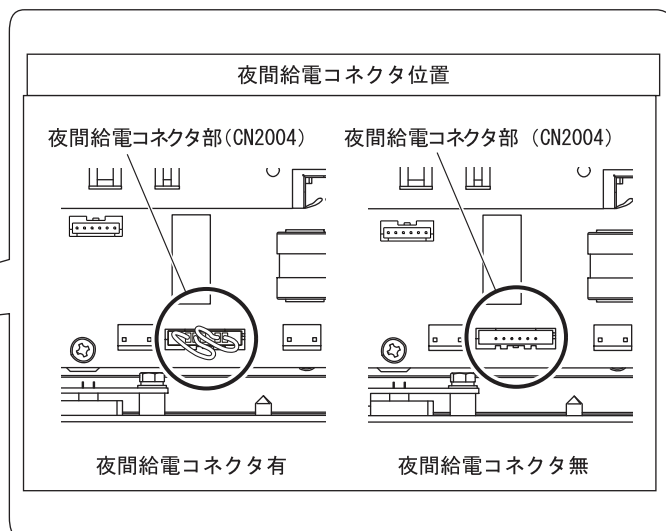
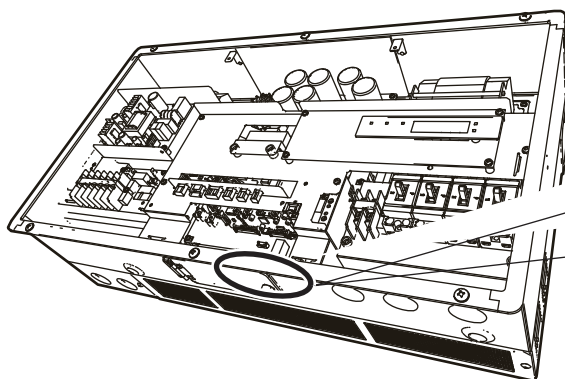
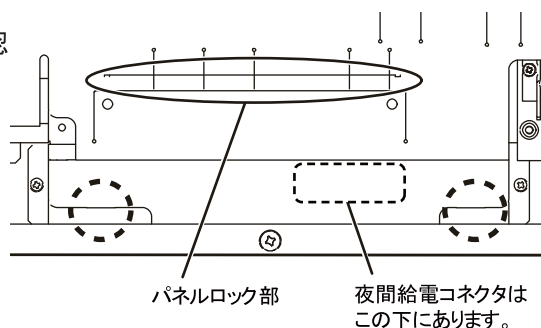
3. 「**C** 複数台」スイッチを「有」側にする。
※全てのパワーコンディショナで行う。
4. 子機(5台設置の場合2～4台目) の「**D** 終端」スイッチを「無」側にする。
※親機(1台目)と末端機(5台目)は変更する必要はありません。
5. 全てのパソコン(5台設置の場合1～5台目)の「**B** 夜間給電」スイッチを「無」側に設定し、夜間給電コネクタ(下記参照)を外してください。

必ずすべての夜間給電スイッチを「無」側に設定してください。



〈絶縁シートのめくり方〉

- ① パネルロック部に配線が接続されていない事を確認する。
(配線が付いたままだと配線に負荷がかかります。)
- ② 2箇所ツメを外し持ち上げる。



6. パソコンIDを設定する。
設定方法については「通電後の設定」(P3) を参照する。

通電後の設定

設定変更は住宅用分電盤内の太陽光発電システム専用ブレーカとパワーコンディショナ内の全ての開閉器をON（入）、もしくは昇圧接続箱がある場合は、昇圧接続箱内の全ての開閉器をON（入）にし、1時間以内に行ってください。

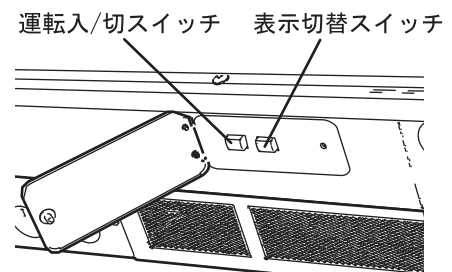
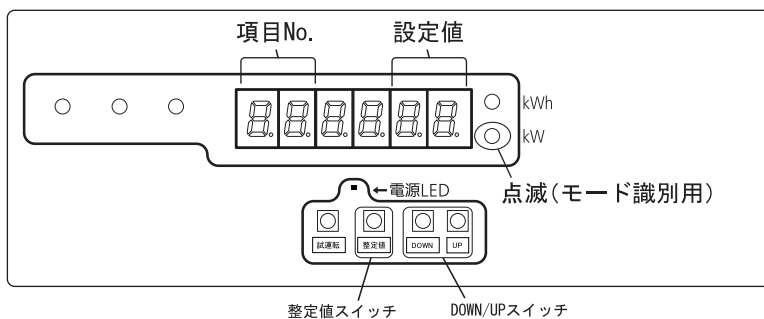
運転入／切スイッチは「切」のままで操作してください。一度でも「入」にすると設定できません。

その場合は、住宅用分電盤内の太陽光発電システム専用ブレーカ、パワーコンディショナ内の全ての開閉器をOFF（切）、もしくは昇圧接続箱がある場合は、昇圧接続箱内の全ての開閉器をOFF（切）にし、電源LED消灯を確認してから、もう一度パワーコンディショナの運転スイッチを「切」の状態を設定してください。

操作手順

1. 表示切替スイッチを5秒以上押す。
2. UPまたはDO W Nスイッチで設定したい項目No. を選択する。
3. 表示切替スイッチを押し、項目No. と設定値を切り替える。
4. UPまたはDO W Nスイッチで設定値を選択する。
5. 表示切替スイッチを2秒以上押すと設定が確定します。

設定が確定する前にエラーが発生した場合や運転入／切スイッチを押すか10分間放置すると設定モードが終了し、変更した内容は確定されません。



<本体下部>

■ その他の項目

網掛け部分は工場出荷時設定です。

項目No.	項目名	設定値		備考
01	パワコンID	0 → 1 → 2...9		0は1台目（親機）で最大10台連結可能です。全ての子機で設定する。
02	（使用しません）	oF	on	oF = OFF から変更しないでください。
03	停電手動復帰	oF	on	oF = OFF（自動復帰） / on = ON（手動復帰）